



かたやま小児科クリニック

津山市山北 763-19

TEL:0868-24-1310

当院ホームページはこちら➡



Instagram
Twitter
#かたやま小児科
クリニック
で検索してみてね

こちらのQRコードを
読み込むと今までの
クリニックだよりが
読めます →→→
お役立ち情報沢山!



経鼻インフルエンザワクチンはじまります

インフルエンザのワクチンに点鼻(フルミスト)が日本でも発売されました。今までと違って注射のワクチンではないため、痛みがなく、注射が嫌いなお子さんには接種の選択性が広がりました。2歳から19歳未満のお子さんが対象で、左右の鼻腔内に1回ずつ計0.2mlを噴霧する生ワクチンです。

ウイルスの入ってくる鼻腔の免疫を高めることができるため、今後はインフルエンザ予防接種の中心になってくるかもしれません。

フルミストは弱毒生ワクチンです。弱毒化したインフルエンザウイルスを鼻の粘膜に投与することでインフルエンザに対する免疫の働きを高めることができます。

鼻腔にウイルスが入ってきた時に粘膜面で結合して体内に入らないようにすることができます。このためフルミストには重症化予防効果はもちろんですが、感染予防効果があるとされています。

注意点として、投与後に軽い感染をおこすため、鼻水や頭痛など軽い感冒様の症状が生じることがあります。フルミストに使用されているウイルスはインフルエンザを発症させる力はなく、他の人に感染して病気を発症することはほぼありません。

既に免疫を持っている人に経鼻的にワクチンを投与した場合、既存の免疫がワクチンウイルスを排除してしまうため、十分な感染が成立しないことが多く、その結果、ワクチンとしての効果が弱くなってしまいます。子供には安定して優れた効果があるけれど、大人では効果が弱くなってしまふことが知られており、日本では2歳から19歳未満(18歳まで)が適用年齢と定められました。

大人に接種しても、感染経験の自覚のあるなしにかかわらず、過去にインフルエンザに感染したことがあるのが普通ですから、一定のインフルエンザ抗体を持っており、不活化ワクチンによる皮下注射の方が効果あると考えられています。

注射のワクチンは「13歳以上は1回接種、13歳未満は2回接種」です。子どもは今までインフルエンザにかかったことがないか少ないため、ワクチンで十分な免疫をつけるためには1回接種では足りず、2回接種が必要です。フルミストについては注射であれば2回接種が必要なより低年齢のお子さんにより効果が期待できると考えられます。

接種間隔

1回の接種で1シーズン効果が持続します

他のワクチンとの接種間隔についての記載はありません(制限されません)

接種が勧められない方

妊婦、授乳婦、周囲に免疫不全患者がいる方、免疫不全患者、無脾症患者、ミトコンドリア脳筋症患者、ゼラチンアレルギーを有する方、中枢神経系の解剖学的バリアー破壊のある患者

噴霧した後の注意事項

生ワクチンのため軽いインフルエンザ様症状が出ることがあり、報告によっては約半数で鼻漏や鼻閉がみられたとしています。他の方にワクチンウイルスを伝播させる可能性が否定できないため、接種後1~2週間は重度の免疫不全患者との接触を避けるように勧められています。

